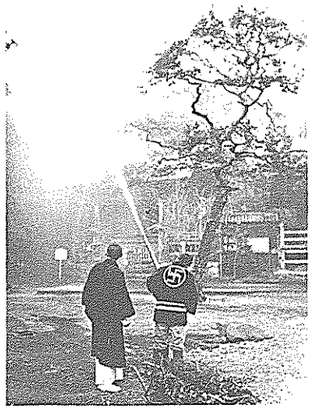
## 市民のひろば



火の守りを―。国分寺で

### 第十二回婦人会の市政会議

# 台所に直結した市政を

市の連合婦人会（浜田弥芳会長）は、一月十六日新装なった市役所で市政会議を開きました。

当日は六十人の地区代表が、きめ細かな市民の要求をひっさげて集合。

まず、浜田婦人会長から「台所に直結した市政」をモットーに第十二回目を迎えたが、私たちの願いが一つ二つ実現されていることは無上の喜びだ。やりくり市政でご苦労されていることはわかるが、市民の側として要望したいことが多い。住みよい南国市のため少しでもプラスになれば幸だ」と切りだすと、金堂市長もあいさつに立ち「予算要求するには一番よい時期だ。やわらかい圧力でお願いしたい」と、グッと低姿勢。

「事業を多くするには税金を上げたらよいことになるが、税金を上げると市長になれん」と、暗に年末の市長選挙への再出馬をほのめかす。

### 多いＰＴＡの負担

質疑に入り教育問題。

小中学校の義務教育は無償のはずだが―。と切りだしたあと、ＰＴＡの負担が多く、教育予算の伸びがない。白木谷、黒滝、奈路などのへき地校は児童の減少で複式学級が多い。教員を確保せよ。また社会教育面では、市民図書館、民具館などの設置を要望。

これを受けて、教育予算は万全でないが伸びている。建設事業など投資的経費が多く、物件費などに影響していることは事実だ。二学級含めて二十二人になれば複式学級になる。白木谷はことし新入生がないので三学級の複式だ。このため事務職員の配置、教頭の処遇など市に要望している。市民図書館、民具館は、市民会館の用地を確保しているので、これに含めた立派なものにしたい。

### 国保税で紛糾

税金問題は、家庭の大蔵大臣の集りとあって市民税などの税率の引き下げ、公平な課税、滞納整理など多彩。そのなかで各戸へ納税袋の配付、国保税に前納報奨金をなどのアイディアも出た。

市は、市民税などは四十九年度までに標準税率にする。サラリーマンの税金は市民税収入の六〇％で多いことは事実で、適正な課税に努める。と切り抜けたが、国保税の問題でエスカレート。税のなかでも国保税が特に高い。課税の仕方などについて、くわしい説明を求める。

統計資料を配付しながら、国保会計は〝出るをみて入る〟を決めている。このため医療費のいかんによって左右され、受診の合理化、資格の適正化、交通事故の医療費は加害者負担、滞納の整理の四本柱で建てなおしをした。と説明があると〝資格の適正化〟については行きすぎがある。と紛糾。乱受診はいけない。税金の二重取りをされている。黒字があれば税は上げなくてよい。と拍手がわく。年度の途中での異動には、他の保険との関係で税金の還付のないことはあっても二重取りはない。二重取りがあれば返す。黒字分はことしの歳入に入れたので、税は上げていない。老人医療費の無料化で二千万円の経費が見込まれ予備費として財源留保している。医療費と滞納が多くなれば、税金もやむなく上るのでご協力を。

### 保育料は高くない

やかましくいわれている老人年金をはじめ、わたきり老人、医療費の無料化の問題、保育料の引き下げや施設の改善、○歳児の医療無料化、生活保護の適正化など盛りだくさんの要望のあと、母子福祉、児童福祉など社会の谷間におかれている子供に愛の行政を―。と、女性らしい心づかいがあった。

**★善意銀行だより**

マルハチセンターから三万円のご寄付があり、恵まれない施設に送りました。（夏森福祉会）

保育施設は里、岡豊、稲生の順で手がけるが、後免、大篠は過密になっているので、土地を求め新しい形でスタートさせる。保育料は高知市に次き安い。○歳児の無料化は四月から実施を考えている。生保の件数は減っているが、焦げ付きのあるのは事実で、議員や民生委員など市民の協力でがんばりたい。

### 水洗便所は遺憾

川がきたない。市は監視して違反者からは罰金をとれ。下水道がないのに個人住宅へ水洗便所をつけるのははけしからん。と、なかなか手きびしい。そして、高知空港拡張には絶対反対。今までの犠牲で十分。会場に拍手がわく。

清掃には全力をあげている。収集体制が十分になれば、悪質なものはビシビシ取締る。下水道の必要性は痛感している。莫大な財源が必要で、市街化区域のマヒしているところから、四十八年度から手をつけたい。空港問題は議会の特別委員会でも決論がでていない。地元の納得がなければできない。市民の側になって動きたい。と、住民自治を強調。

### 災害で切実な訴え

市道、農道の舗装についての要望が圧倒的なかで、9・15集中豪雨で、こっぴどくいためつけられた山間部。復旧の管轄はどこにしろ、市は市民の立場で親切にあたってほしい。どのように、いつまでに復旧されるか全く不明で地元に説明をしてほしい。と切実な訴え。

市民一人一人、一軒一軒にまで手をさしのべたい。原因の究明も必要だが、国、県と早急に話し合い復旧に全力をあげたい。

過疎化現象のはげしいとき、集中豪雨の大惨事で清流が変身上倉、瓶岩の婦人から、復式学級、プール、上水道の設置、ゴミ収集、災害の早期復旧など切実な要求があり、もろもろの要求、要望のあったなかで、市政に一つの問題点をなげかけたようだ。

どうぞよろしく

## 21人を新採用

市は1月1日付で職員の異動と新採用者を発表しました。

これは、新庁舎に移行して助役秘書、窓口受付などの新設に伴なう異動や新採用によるものです。

新しく採用された人は、21人。

事務職員15人、土木、建築、栄養士などの技術職員5人、看かん士としての技能職員1人となっています。

【異動】

市長公室＝西川幸子（市民課）松岡悦子（学校教育課）▽市民課＝鍋島幹（会計課）▽教委学校教育課＝中島陽子（市長公室）▽消防本部＝徳橋広満（市長公室）

【新採用】

市長公室＝島崎俊二（東崎）森国律子（浜改田）▽総務課＝豊永克重（後免）矢野恵美（西山）▽市民課＝田岡由記子（高知市）▽領石支所＝南幸男（陣山）▽公害環境課＝橋田和典（片山）岩崎明雄（野市町）▽農林園芸課＝川村一成（奈路）▽商工水産課＝島崎明（稲生）▽福祉事務所＝谷田豊（東崎）▽水道局＝久家正子（田村）▽教委社会教育課＝高木正平（前浜）▽少年補導センター＝竹村悦子（西山）▽岡豊小学校＝中山陽子（什枝）▽農業委員会＝浜田清貴（立田）▽建設課＝時久晃（土佐山田町）吉川宏幸（久礼田）小崎已喜雄（大埔）西原三登（奈路）▽財務課＝楠本俊夫（小蓮）

## ■親子クイズ⑰■

あなたもクイズをあててみませんか答えは今月号の広報にでています。

**▼もんだい**

①一般家庭のゴミは、2月12日から1週間に○回収集されます。

②明治・大正・昭和・○代青年のバスで断絶を洗い流しました。

③県市民税などの申告期限は○月15日です。お忘れなく――。

**▼しめきり**

2月15日（木）

**▼おくりさき**

南国市大埔　南国市役所内、広報委員会、親子クイズ係あて

**▼しょうひん**

特賞2,000円　1人

残念賞　記念品　10人

**★特賞に浜田ひろし君（大埔）**

第16回の正解者発表

▼こたえ、土地の先買い制度は　①②月1日から、市庁舎は　⑤階建て、老人医療費の支給は　⑦⑩歳から

▼特賞2,000円　浜田ひろし（大埔）

残念賞　記念品　服部美智子（笠の川）松木泉（浜改田）西村小夜子（浜改田）岡上美智（篠原）永田万里（常通寺島）水沢文子（浜改田）岡崎光枝（久礼田）中沢武雄（定林寺）竹崎三洲（久礼田）田村寿一（物部）

## 年の始めにふりかえる母親大会のこと

青葉の匂うころ、仙台で開かれた第十八回日本母親大会へ全国から二万六千人が参加しました。高知県から八十三名、そのうち南国市から十一名が参加し、お互の運動をたしかめあったことでした。

今年、七十五歳になる西野さんは、元気に参加し、その活動は若い婦人への力強いはげましとなりました。南国市から、このようにたくさんの代表をおくることができましたのも、日頃のみなさん方のあたたかいご支援とカンパによるものと感謝すると共に南国市の代表であることをかみしめたことでした。第一日目の分科会は「子どもの教育」「生活と権利」「平和」「母親運動」など四十三のテーマにわかれ、活発な討論が深められました。年令、職種の違い、地域での問題点などが、うきぼりにされると共に、さまざまな実践報告がされ、力強さを感じると共に団結することの大切さを学びました。大会、第二日目の全体会は、青葉城跡のもと、宮城県スポーツセンターで開かれました。開幕をつげる若者のうちなら寸勇そうな太鼓の音「生命を生みだす母親は生命を育て守ることをのぞみます。」のスローガンが、壇上にあざやかにかかげられていました。このとき、参加者のすべてが、子どもを中心にして、心はぴったりと一つになりました。▼日本列島縮図の中に点滅する赤ランプは基地の数、黄ランプは公害の数。▼ベトナムの国花、グラジオラス三万八千個が真紅に咲いて、大阪代表からハノイ大学長に手わたされました。つぎつぎに全国のお母さんたちの運動が思いおこされます。

今、日本の母親は、ベトナムの母親との深い連帯と平和への願いをこめた熱気でいっぱいでした。

「母親がかわれば、歴史がかわる。」ほんとうに、わたしたち参加者一同、このことばをかみしめながら、二日間の感激を明日からの活動にむけていくため、萩の花のこぼれる並木道を元気に行進したことでした。　南国市代表一同